



# 学校だより

横浜市立末吉小学校

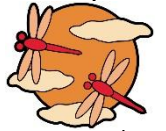
令和2年度

9月号



夏から秋へ

学校長 本庄 則子



短かった夏休みが終わり、子どもたちが学校へ帰ってきました。暑い中での登校なので心配をしていましたが、「おはようございます」という元気な声に、ほっとしました。正門で挨拶の後子どもたちの一言から・・・。

「校長先生、暑いね。」

学校では、冷房を早朝より稼働する、水筒で持参する飲み物はスポーツドリンクも可とする、首を冷やせるタオルを持参してもよい、など熱中症対策をとっています。暑さで休み時間の外遊びや体育ができない日もあります。感染症対策と双方を考えての8月・9月です。

「見て。夏休みに、作ったよ。」

自由研究の作品を大事そうに見せてくれる子どもたち。例年のような思い出はなかなかつくれなかったようですが、教室前には、昨年同様、自由研究の力作が並びました。今年は全員提出としなかった学年もあります。授業参観が9月から10月なので保護者の方々にご覧いただけないのが少し残念ですが、子ども同士、友達や他学年の作品を見合ったり読み合ったりしていました。

「ツバメはどうしたかな。」

「あれ、いないね」とピロティのツバメの巣を見上げている子どもたち。4月に巣作りをしたツバメは巣立ちまでいきませんでした。7月に巣作りをしたツバメは、2羽の雛を育て上げることができ、ほっとしています。夏休み中でしたが、親から餌をもらいながら雛がどんどん大きくなり飛び立つことができたので、朝会（TV放送）で紹介しました。

感染症の影響が長くなり、私たち大人もストレスを感じていますが、子どもたちも勿論感じているでしょう。大人はストレスを実感し、表出し、解消法を考え実行することができます。ところが子どもたちは、我慢をしすぎてしまったり、自分がストレスを感じていること自体が分からなかったりすることがあります。世の中全体に余裕がない中、子どもたちが安心して過ごすにはどうしたらよいか、これからも地域や他校、関係機関と連絡をとりながらよりよい方策をとっていきます。ご協力をお願いいたします。

また、本年度から3年間、末吉小学校では、「幼保小連携推進地区事業」を受け、幼児教育と小学校教育との円滑な接続と双方の保育・教育の質の向上を目指して実践研究をしています。今までも行ってきた近隣の幼稚園・保育園との交流に加え、特に「幼保連携型認定子ども園 あさひ台幼稚園」及び「末吉にここ保育園」との連携を深めていきます。子ども同士の交流が今年度はどこまでできるかわかりませんが、幼児教育についての研修など、無理のないように進めていきたいと考えています。活動の様子は、また学校だよりなどでお知らせしていきます。

夜は虫の声、昼間はセミの声が聞こえています。夏から秋へ。季節を感じながら、心も体も元気に過ごしていきたいと願う昨今です。